

## 令和元年度 中央中ふれコミ隊 個人反省のまとめ

令和 2年 2月 1日(土) 7:30~9:30  
(「地下道清掃、まとめの会」参加者13名)

### ◆中学1年代表 長谷川 月香さん

私は「ボランティアなんてどうでもよい」と、小学校の頃は思っていたけど、ふれコミ隊に入っているいろんなことを感じました。ボランティアをしたら、周りの人が笑顔になり、とてもよい気持ちになる。清掃などはここだけでなく、学校も同じなので、今の気持ちを忘れずにこれからも生きていきたい。ボランティアは人と人の心を繋いでくれる活動だと思うので、続けていきたい。行った回数は少なかったけど、ボランティアができてとても楽しかったし、心が明るくなりました。また、障がい者の人達にも住みやすい環境を作れば、よいと思っている。

### ◆中学1年副代表 高橋 佑奈さん

計4回のふれコミ隊の地下道清掃を通して、清掃することが楽しくなりました。指導員の方がほうきのコツを教えてくださいましたので、学校の清掃でも生かすことができています。少年の主張発表会では、他の地区の活動の様子も知ることができました。集合写真を撮った時は、思ったより多くて驚きました。ボランティアをしたいという同じ思いを持つ人が多くてうれしかったです。

一番印象に残っているのは、福祉フェスティバルの募金の手伝いをしたことです。たくさんの方が募金をしてくださいました。中には「頑張ってるから多く入れとくね。」とってくださいる方や「2回目だけど。」と何度も募金してくださいる方もいました。とても嬉しかったです。「誰かの役に立てる」という気持ちを大切に…！来年もこの活動を続けて、参加合計回数20回を目指して頑張っていきたいと思います！！

### ◆中学1年 田中 結月君

計4回の地下道清掃では、地域の方だけでなく中央中の人も通るので、いつも使っている分、心を込めて掃除することができました。また、人と会った時のあいさつも進んで行うことができました。

募金活動では、困っている多くの人のため、声を出し、多くの人力を集めることができました。そして、小さな個人力を集め、大きな力になることも学びました。

「子どもフェスティバル」や「ふれあい子ども広場」では、小さな子供と遊ぶ時の楽しませ方や注意点を考えました。僕は今までの活動を通して、地域の方がその地域を大切にすることを学びました。来年も続けたいです。

### ◆中学1年 向井 祐人君

僕は、みんなで地下道清掃するのが楽しかったです。地下道がきれいになったのがよかったです。1年間、本当にありがとうございました。来年もふれコミ隊をやりたいと思うので、よろしくお願いします。ありがとうございました。

### ◆中学1年 山下 明音さん

ふれコミ隊の募集があった時に参加するかとても迷っていたけど、参加してみて、仲間と一緒にボランティアをすることの楽しさや、地域の方の役に立てる喜びを感じられました。地下道は毎日使っているので、感謝の気持ちを込めて一生懸命清掃しました。2年生になっても参加しようと思っているので、今年度よりも多く活動に参加したいです。

### ◆中学1年 大島 叶鈴さん

私は、あまり後半に参加していないと感じていたけど、毎回、集中して一切しゃべらずに取り組むことができたのでよかったです。地下道清掃に参加している内に、自分では掃除はできていると思っても、階段にある横の部分に集めて掃く時にどうしても角の部分が残ってしまい、なかなか掃き出すことができず、いつも時間がかかることが欠点だった。しかし、ほうきの端を使うことや、掃く時の位置を学んで、今までの自分がやってきたことは違っていたことが分かったので、今は学校で階段ではないけれど、他の場所やいろいろな場所を上から掃いていきたい。6/15, 9/1, 10/20は、イベントの準備や手伝いをやってきたけど、いつもは全然やっていない大きな声を出すことや、教えることをやって経験したことが増えたのでよかったです。

### ◆中学1年 今尾 小春さん

4回の地下道清掃では、掃除をすることの大切さを学びました。掃除をし終わった後の達成感やスッキリした気分を感じられることがとても嬉しかったです。地域の人々などのために役に立つことのうれしさ、大切さを学べたのでよかったです。掃除では、隅のところをほうきを上手く使って掃き出すことを頑張りました。

た。少しでも地域のために役立てたと思えました。地域だけでなく、人々の役にも立てたと思うので嬉しかったです。各務原市福祉フェスティバルの盲導犬募金活動の時も、自分から積極的にいろいろな人へ呼びかけることができよかったです。

#### ◆中学1年 上野 智紀君

ふれコミ隊をして、学校でもボランティアをすることができるようになりました。清掃では隅々まで、集中して清掃できてよかったです。自分から進んでボランティアができるようになってよかったです。地下道はとても汚れているので、清掃してよかったですと思えました。階段を一段、一段きれいにしようという気持ちで清掃することができました。地下道の鏡の所も雑巾を使って、ピカピカにすることができてよかったです。2年生になってもふれコミ隊に参加して、頑張りたいと思います。

#### ◆中学1年 伊藤 麻葉さん

地下道清掃では、静かに集中して掃除することができました。この経験を生かして、学校での掃除場所も心を込めて掃除をしていきたいです。今年は5回参加できたので（ふれコミ隊として活動できたので）、来年はもう少し参加できるように頑張りたいです。少年の主張発表会では、一人一人の話を真剣に静かに聞いたのでよかったです。こんなふれコミ隊の活動を通して、周りの人のために動いたり、進んでボランティアできたりする人になっていきたいです。来年は、全ての地下道清掃に参加できたらいいなと思っています。

#### ◆中学1年 前田 実花さん

1年間の活動を通して、ボランティアをすることの大切さとした後の達成感を学ぶことができました。1回目の地下道清掃では、前の日に雨が降って泥だらけだったけど、ほうきで一生懸命掃いて、泥を落としたり、水を流して落としたりするなどの重労働だったけど、清掃し終わった後の達成感はずごかったし、泥で滑って転ぶなどのけがを防止できたと町の人のためになったという気持ちもありました。

少年の主張発表会では、会場の椅子並べなどの準備をみんなと協力して行い、協力することの大切さも学べました。「これ、こっちだよ」とか「ありがとう」などの呼びかけがたくさんありました。そのあと、係の大人の人に「ありがとうございました」と言われて、とても気持ちがよかったです。これからも、まだふれコミ隊を続けようと思うし、2年生はもう少し回数を多くしたいです。

#### ◆中学1年 仙石 渉太君

ボランティアにあまり多く参加することはできなかったが、とても気持ちよくできた。活動を通して、掃除をすると、とても達成感ややりがいがあり、やればやるほどいう言った気持ちが強まり、掃除が楽しく、よりきれいにできるようになったのでよかったです。よかったことは、来られる時はできるだけボランティアとして来て、自分ではとてもきれいにできたのでとてもよかったです。

思ったことは、この活動に参加してよかったですということです。最初は友達に誘われただけで、いやいやだったのですが、最後にはとても楽しく掃除をすることができていてよかったです。来年は正式にふれコミ隊として入って、より一層活動を深めていきたいです。

#### ◆高校2年 松下 朋香さん

私は中学校からふれコミ隊の活動をしていて、毎回やりがいがあるボランティアだなと思っています。ほとんど地下道清掃しか参加できていないけど、通る人にあいさつしたり、お礼を言われたりしてとても楽しく、気持ちよく掃除することができました。地下道がきれいになるたびにやってよかったですと思えました。ボランティアは相手だけでなく、自分も嬉しくなるものだと思えて実感しました。

私は今高校で、インターアクト部という募金などのボランティアをする部活に所属しています。ボランティアのやりがいや楽しさを知らなかったら、きっと入っていなかったと思います。ふれコミ隊のお陰で、この部活に入りたいと思うことができました。

これからもたくさんボランティアをしていきたいと思えました。ありがとうございました。

#### ◆高校2年 長尾 樹璃さん

中学1年からこの活動に参加して、毎年思うことは、私の知らない誰かが私の活動に対して「ありがとう」と感謝してくれて、自分の心が温まるのを感じて、本当にこの活動をしてきてよかったですと思えます。高校生になると、なかなか土日に時間が作れず、地下道清掃などの朝の早い時間帯にしか活動に参加できなくなりました。それでもこのボランティア活動に参加できて、地域の人達のために自分が何かしているという経験はあまり経験しないので、これからもこのようなボランティアを続けられるように時間を確保させて参加していけたらいいなと思えます。来年度は高校3年生となり、今までよりもっと忙しくなる時期になります。それでも、ボランティア精神を持ち続けていくために、この活動はできるだけ参加し、地域の人達のためになれるようにしたいです。大学生、一般人になっても、ボランティアをする時間を確保させ、自分のため、地域のために頑張っていきたいです。